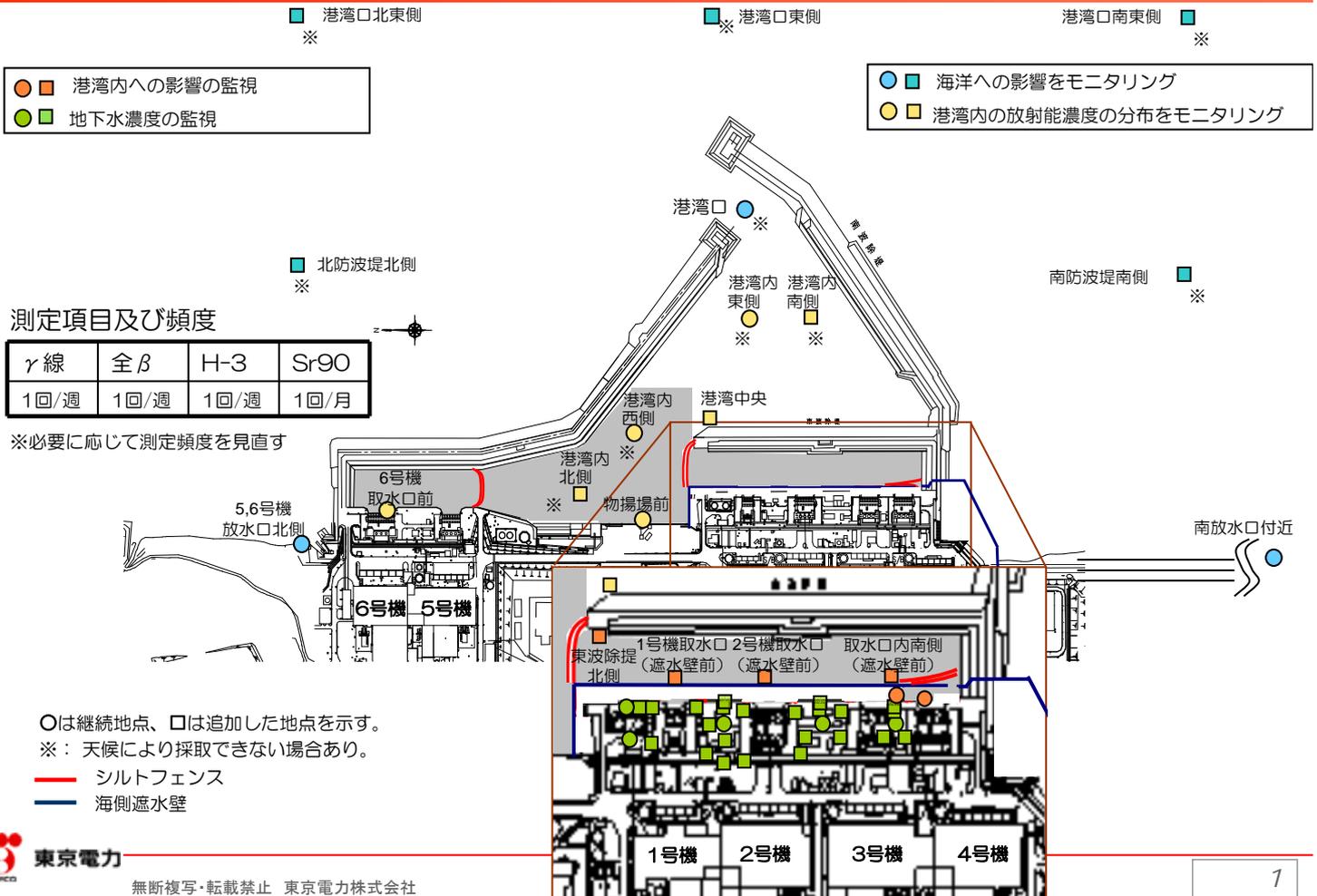


タービン建屋東側における 地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について

平成27年2月26日
東京電力株式会社

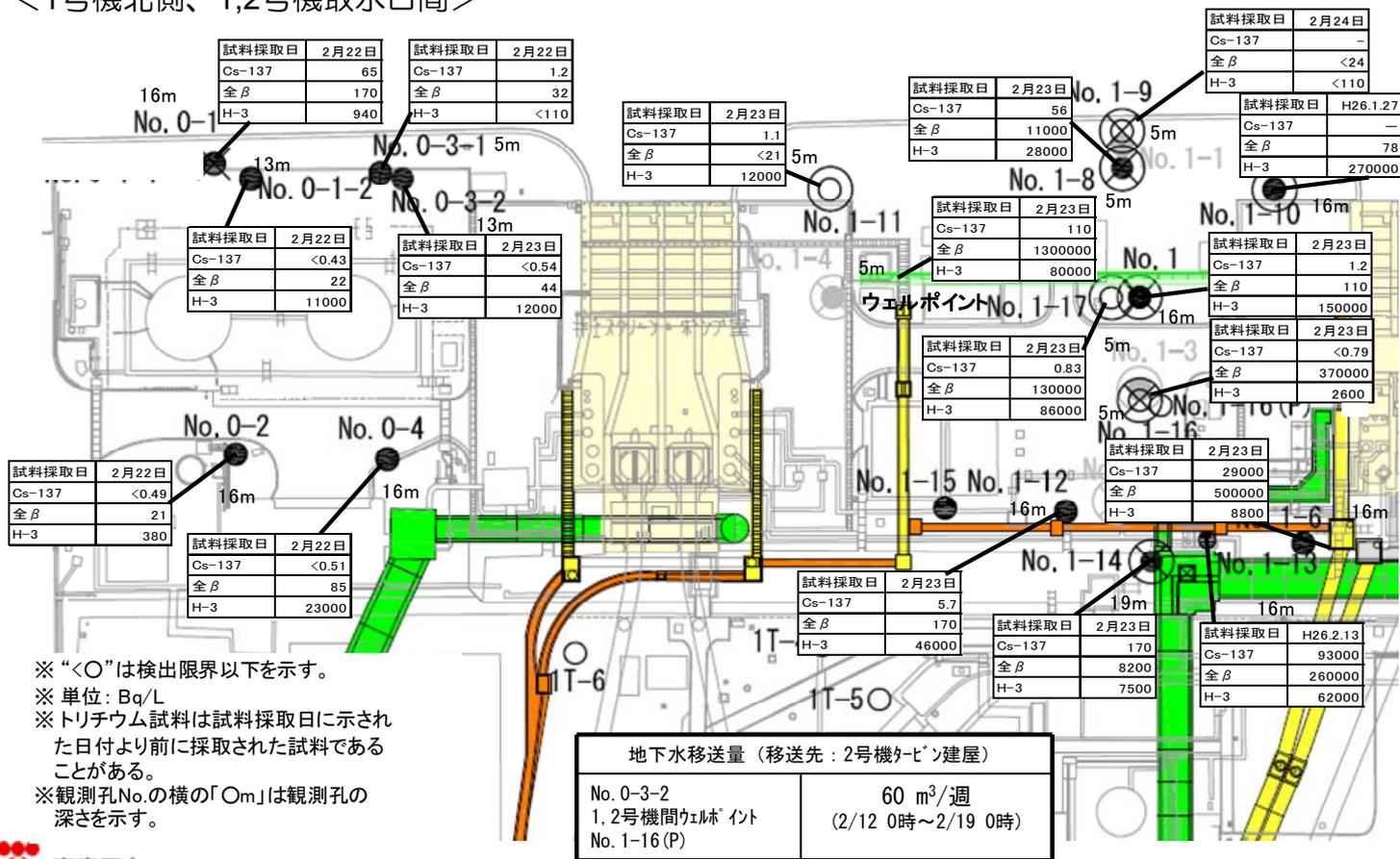


モニタリング計画（サンプリング箇所）



タービン建屋東側の地下水濃度 (1/2)

<1号機北側、1,2号機取水口間>



※ “<”は検出限界以下を示す。

※ 単位: Bq/L

※ トリチウム試料は試料採取日に示された日付より前に採取された試料であることがある。

※ 観測孔No.の横の「Om」は観測孔の深さを示す。

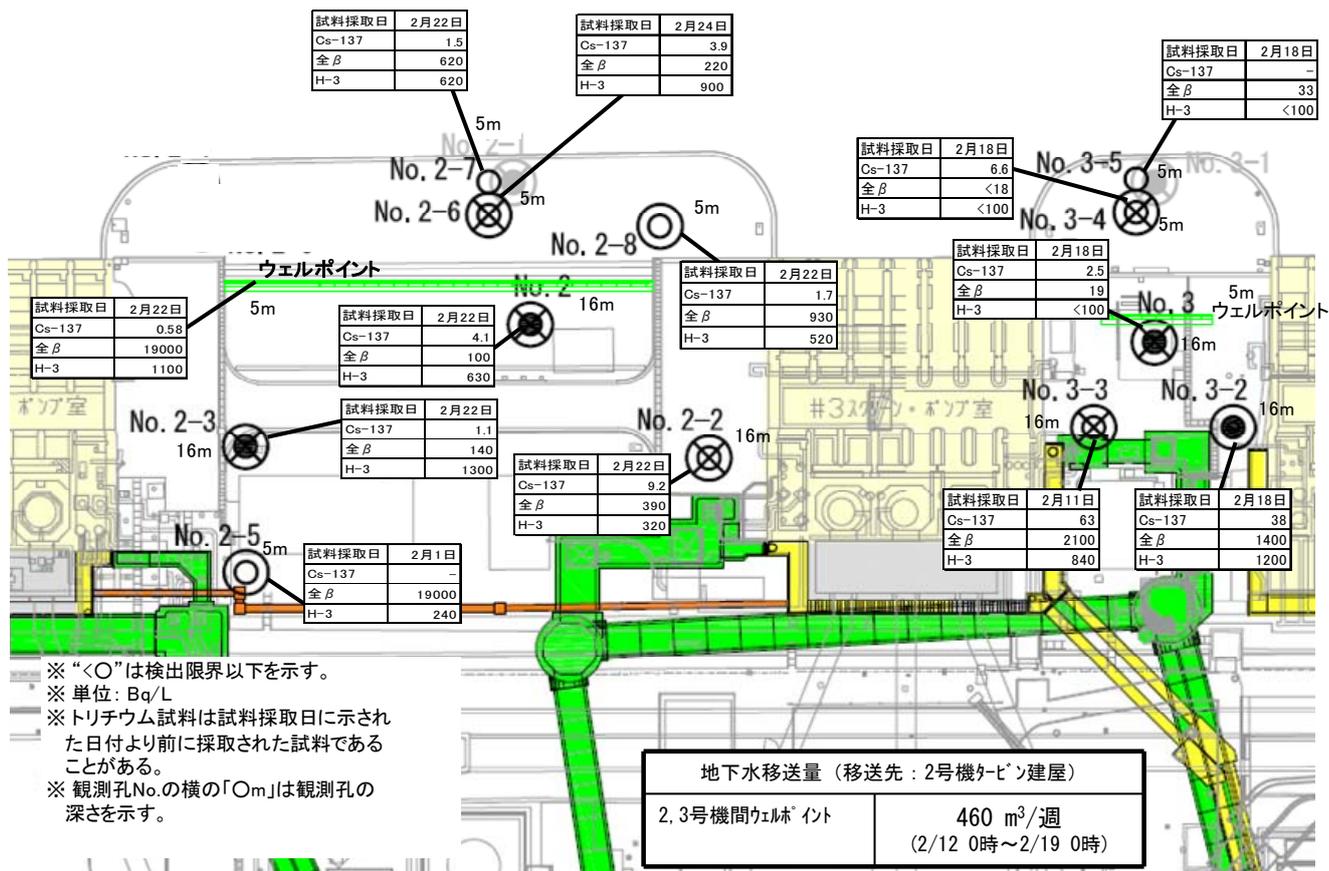


東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

タービン建屋東側の地下水濃度 (2/2)

<2,3号機取水口間、3,4号機取水口間>



※ “<”は検出限界以下を示す。

※ 単位: Bq/L

※ トリチウム試料は試料採取日に示された日付より前に採取された試料であることがある。

※ 観測孔No.の横の「Om」は観測孔の深さを示す。



東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

タービン建屋東側の地下水濃度の状況(1/2)

<1号機北側エリア>

- H-3濃度が高い海側のNo.0-3-2 で、H25.12.11より開始した地下水汲み上げによる効果を継続監視(1m³/日)。H-3濃度は最大で76,000Bq/Lだったが、その後低下傾向になり、現在は10,000Bq/L程度で推移している。
- No.0-4でH-3濃度が7月から上昇傾向にあり、現在は25,000Bq/L程度で推移している。

<1,2号機取水口間エリア>

- No.1-6で全β濃度が100万Bq/L前後で推移していたが、10月に780万Bq/Lまで上昇後低下し、現在50万Bq/L程度で推移している。
- No.1-8でH-3濃度が10,000Bq/L程度で推移していたが、6月以降大きく上下し、現在30,000Bq/L程度となっている。
- No.1-17でH-3濃度は10,000Bq/L前後で推移していたが、10月より上昇し16万Bq/Lとなったが低下、上昇し、現在は10万Bq/L前後となっている。全β濃度は3月より上昇し10月に120万Bq/Lまで上昇後30,000Bq/L程度まで低下したが、12月以降上昇傾向にあり現在20万Bq/L前後となっている。
- 1,2号機間ウェルポイントで全β濃度は3月以降30万Bq/L前後で推移していたが、11月に入って一時300万Bq/L前後まで上昇し、現在は100万Bq/L程度で推移している。(2,3号機取水口間エリアの地盤改良部の地表処理のため、揚水量をH26.10.31より50m³/日から10m³/日に変更)

タービン建屋東側の地下水濃度の状況(2/2)

<2,3号機取水口間エリア>

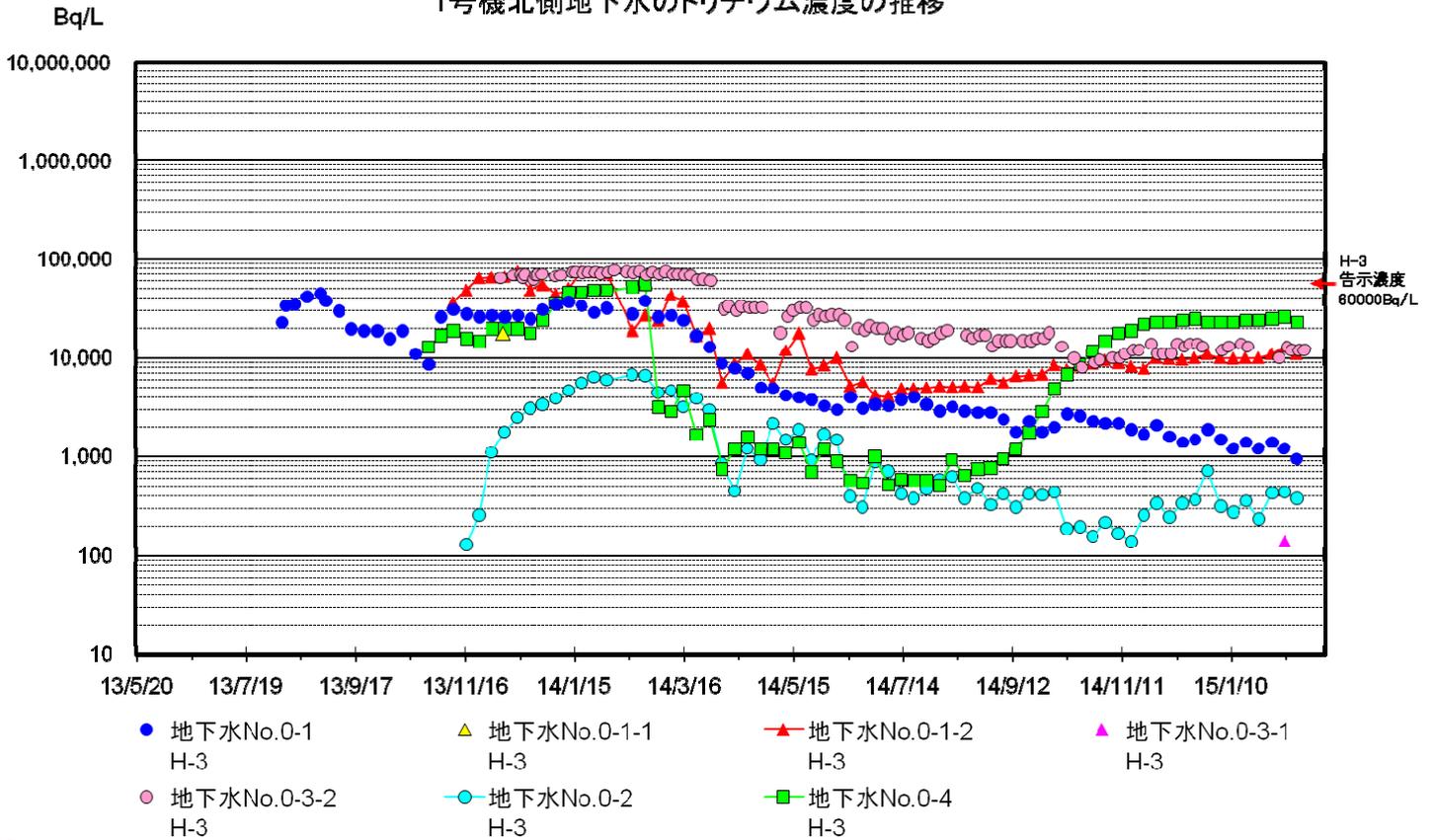
- 2,3号機取水口間ウェルポイントのH-3濃度は4月から上昇し13,000Bq/L程度となったが、11月より低下し、現在1,000Bq/L程度となっている。全β濃度は10万Bq/L程度で推移していたが、11月より低下し、現在2万Bq/L程度となっている。
- No.2、No.2-2、No.2-3では、全β、H-3濃度とも横ばいで推移し、上昇は見られていない。
- No.2-5でH-3濃度が1,000Bq/L程度で推移していたが、11月以降低下し、現状300Bq/L程度となっている。
- No.2-6で全β濃度が2,000Bq/L程度で推移していたが、11月以降低下し、現状300Bq/L程度となっている。
- 地盤改良の外側のNo.2-7はH25.11からモニタリングを開始し、全β濃度は20Bq/L前後であったが、徐々に上昇し、800Bq/L前後で推移。
- No.2-8はH26.2よりモニタリングを開始し、全β濃度は1,000Bq/L前後だったが、徐々に上昇し、現在は2,000Bq/L前後で推移している。
- ウェルポイントの揚水量を地盤改良壁の地表処理のため4m³/日から50m³/日に変更。(H25.12.8～:2m³/日、H26.2.14～:4m³/日、H26.10.31～:50m³/日)。

<3,4号機取水口間エリア>

- 各観測孔とも放射性物質濃度は低いレベルで推移。

1号機北側の地下水の濃度推移(1/2)

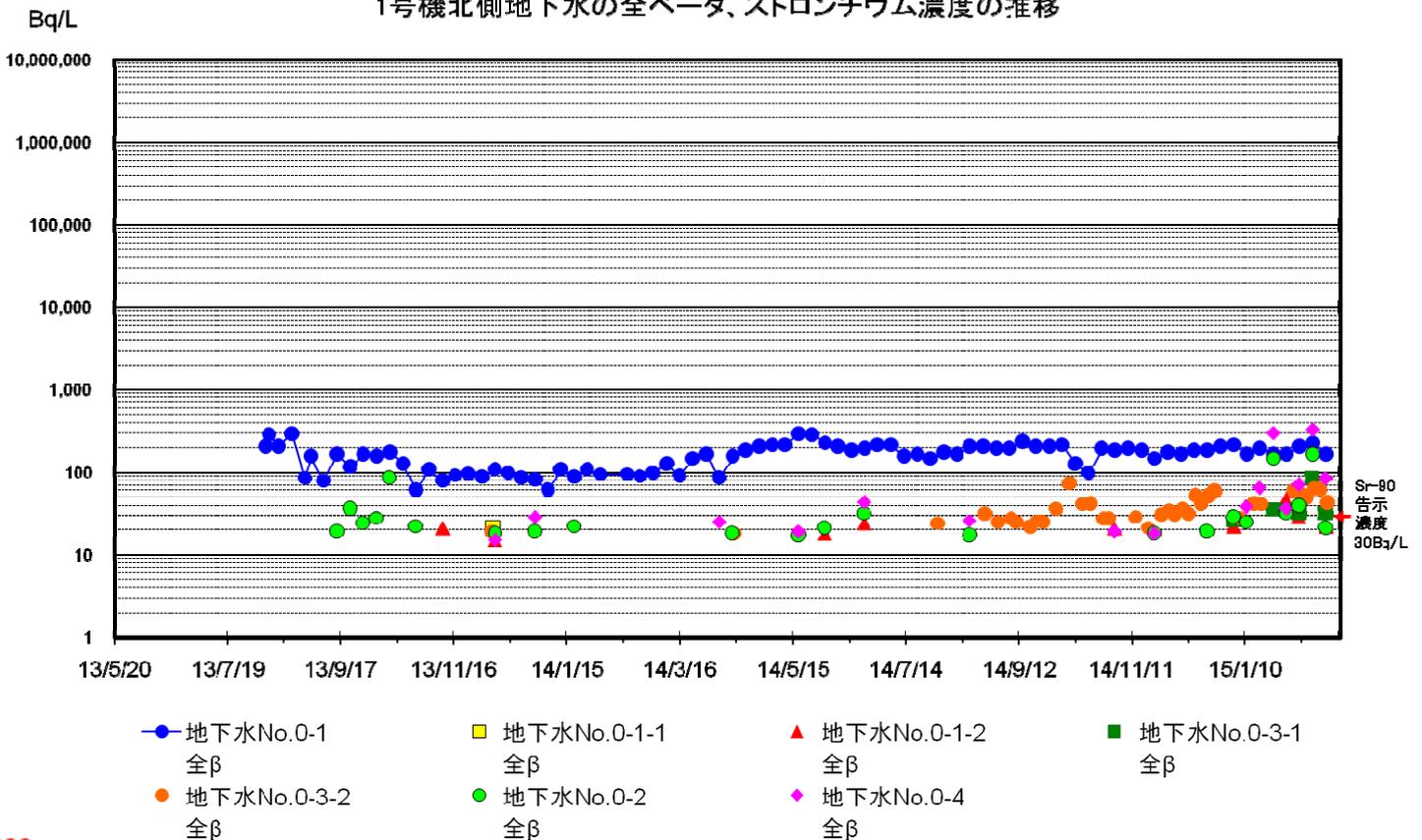
1号機北側地下水のトリチウム濃度の推移



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

1号機北側の地下水の濃度推移(2/2)

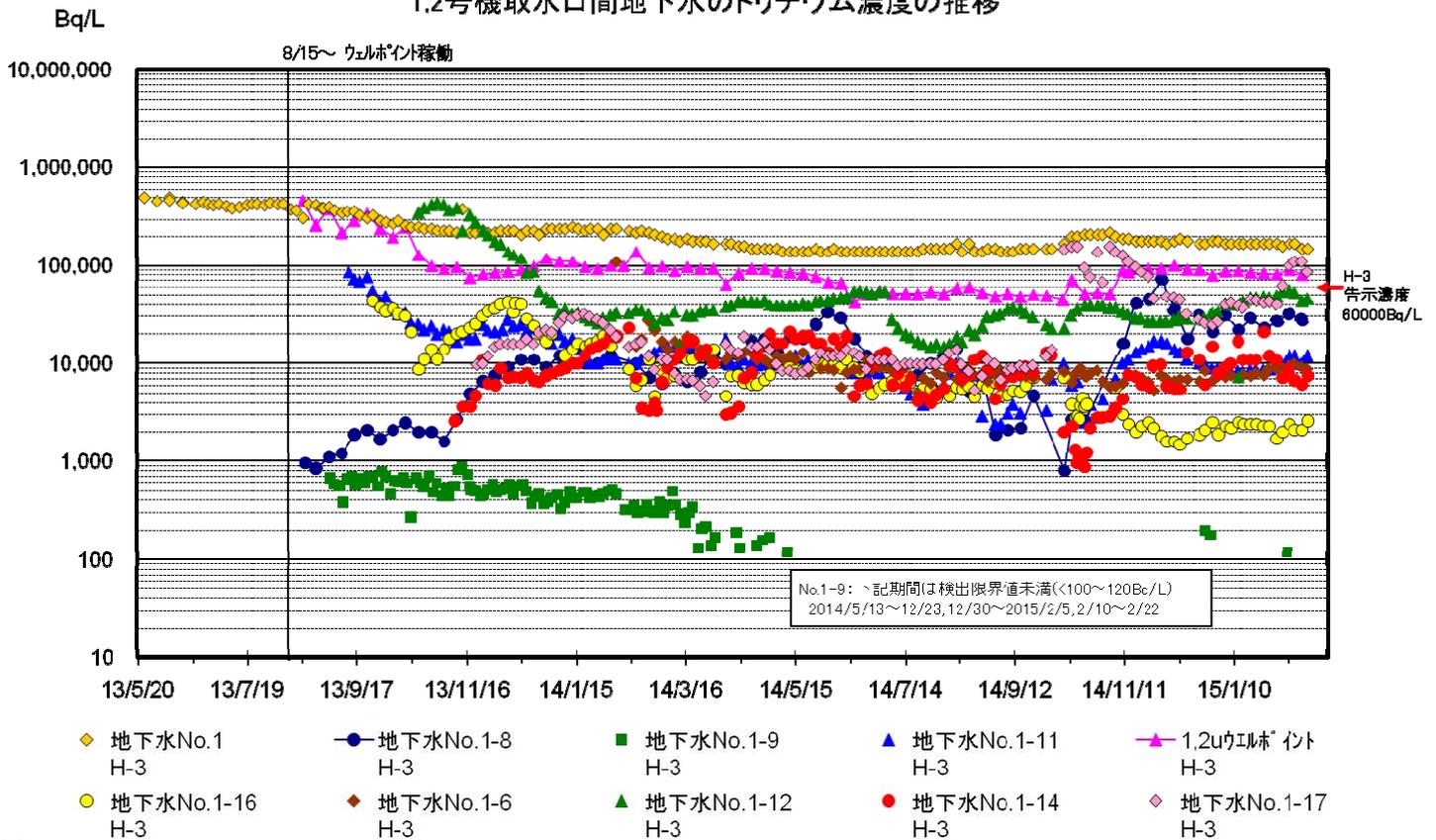
1号機北側地下水の全ベータ、ストロンチウム濃度の推移



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

1,2号機取水口間の地下水の濃度推移(1/2)

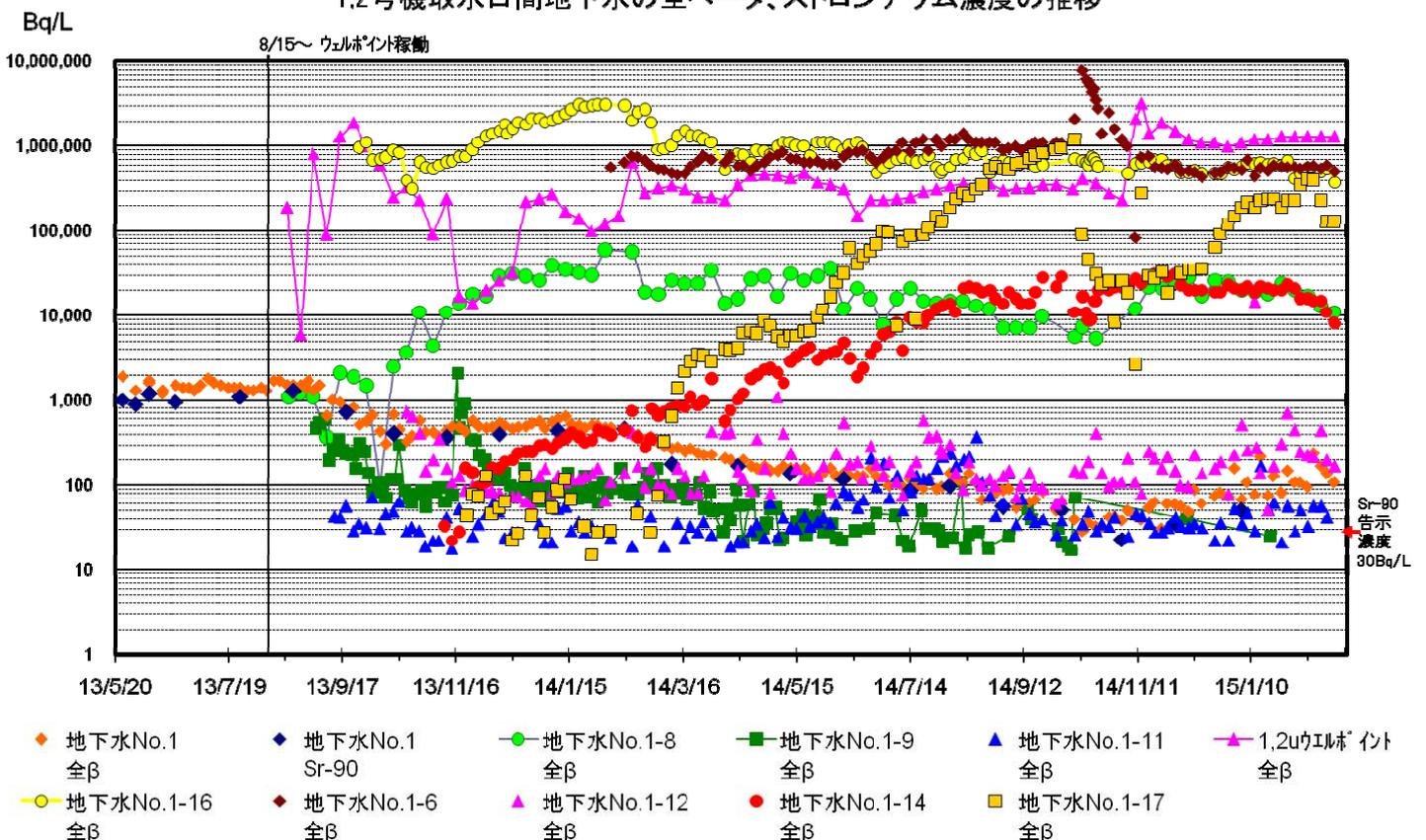
1,2号機取水口間地下水のトリチウム濃度の推移



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

1,2号機取水口間の地下水の濃度推移(2/2)

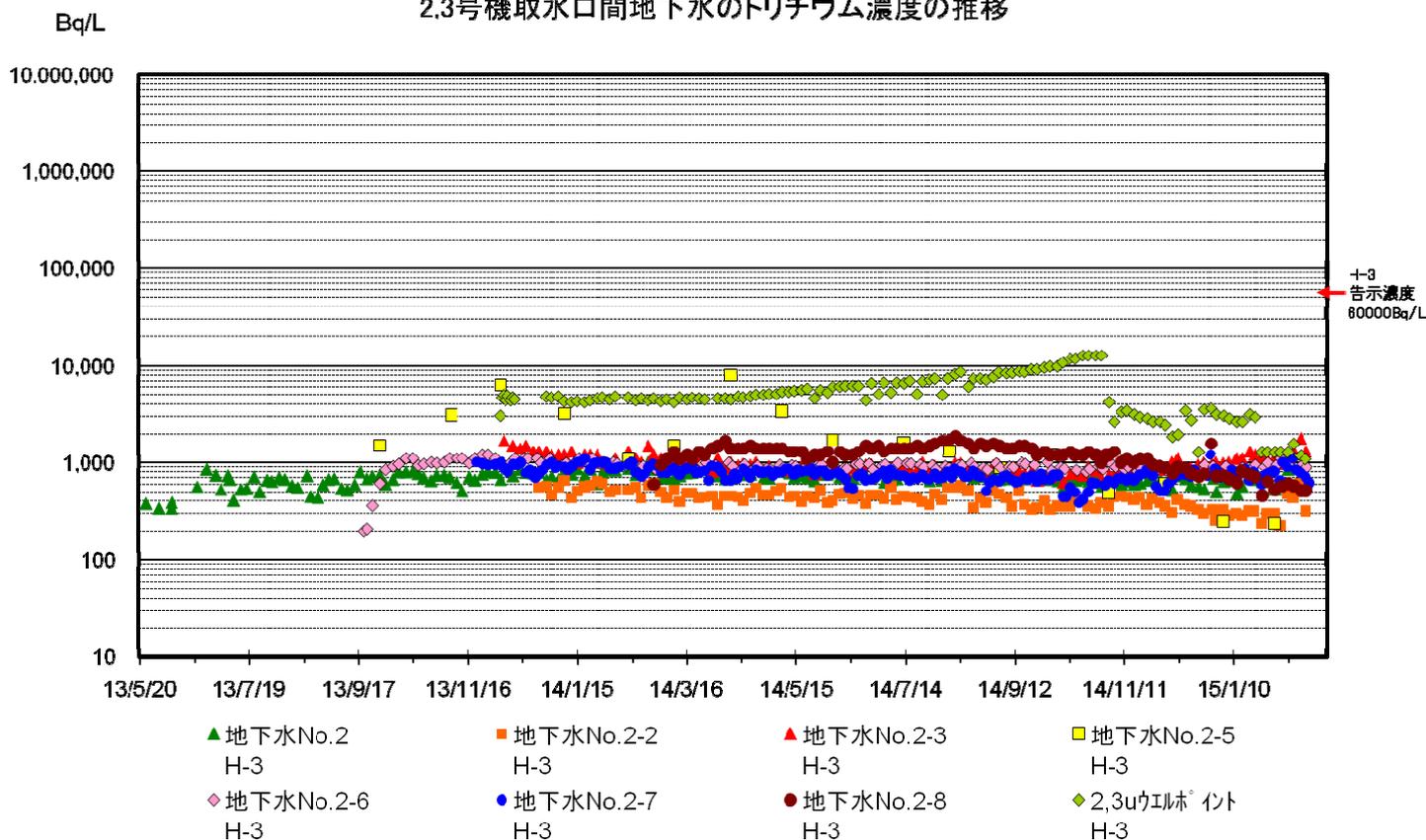
1,2号機取水口間地下水の全ベータ、ストロンチウム濃度の推移



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

2,3号機取水口間の地下水の濃度推移(1/2)

2,3号機取水口間地下水のトリチウム濃度の推移

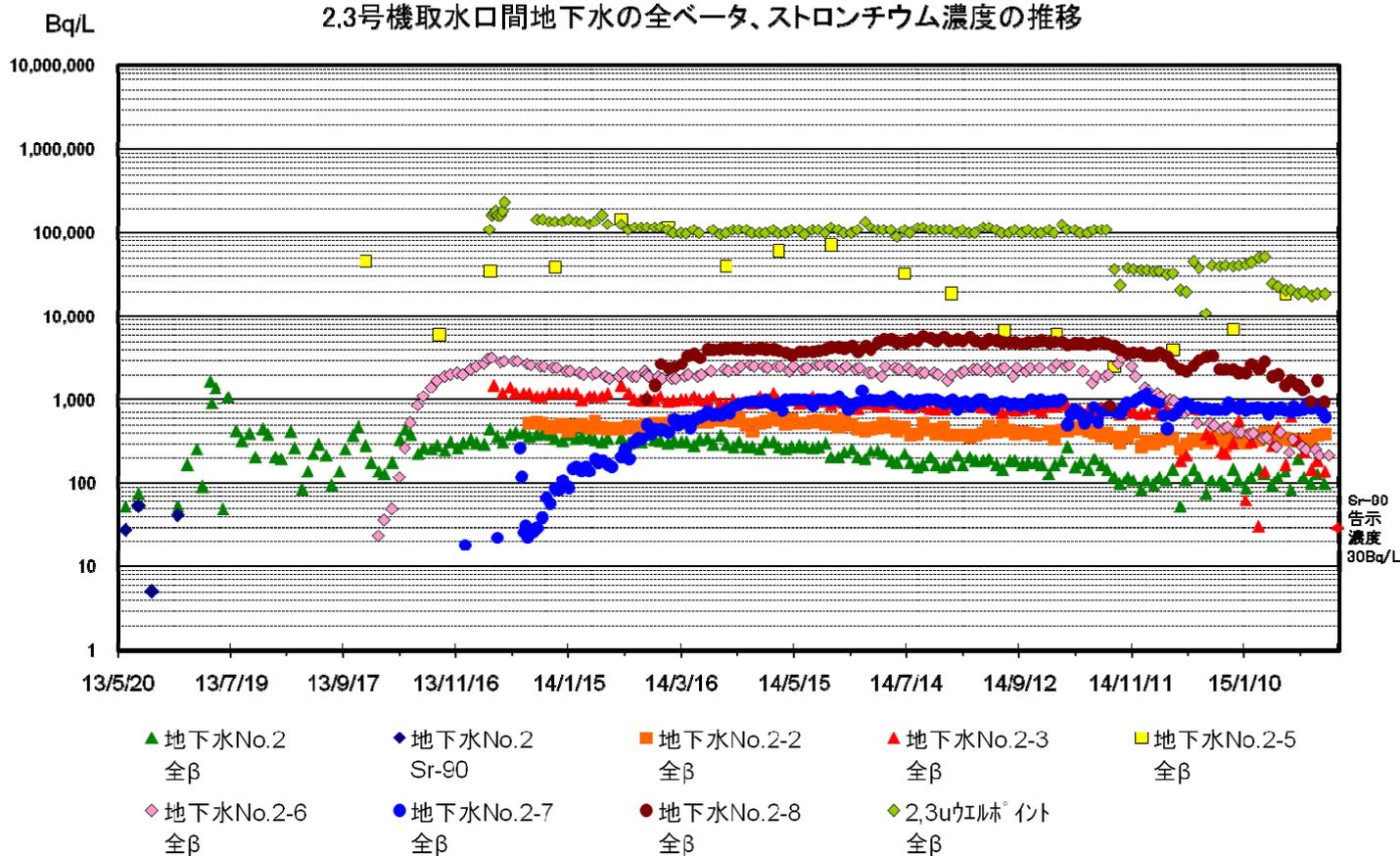


東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

2,3号機取水口間の地下水の濃度推移(2/2)

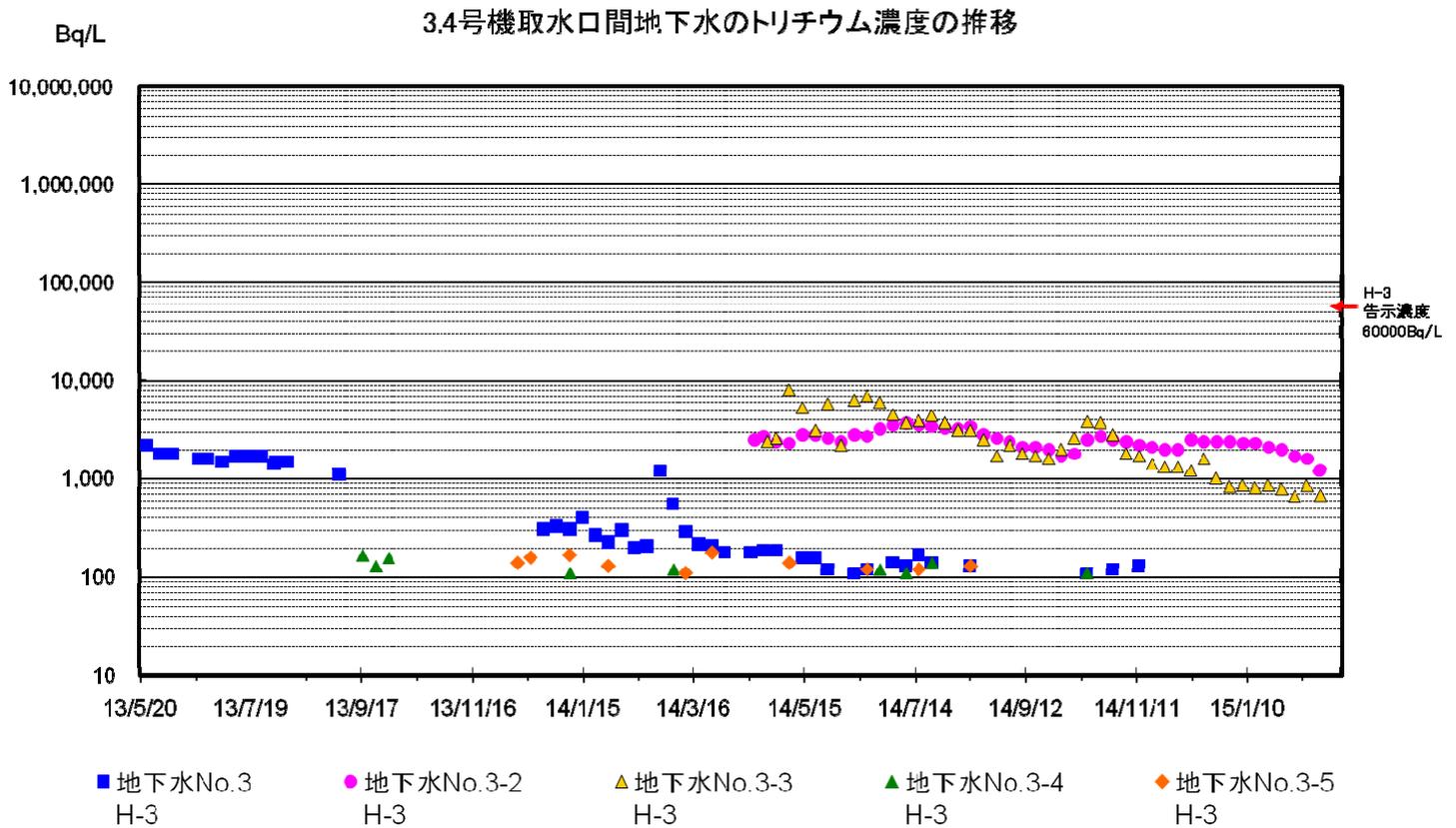
2,3号機取水口間地下水の全ベータ、ストロンチウム濃度の推移



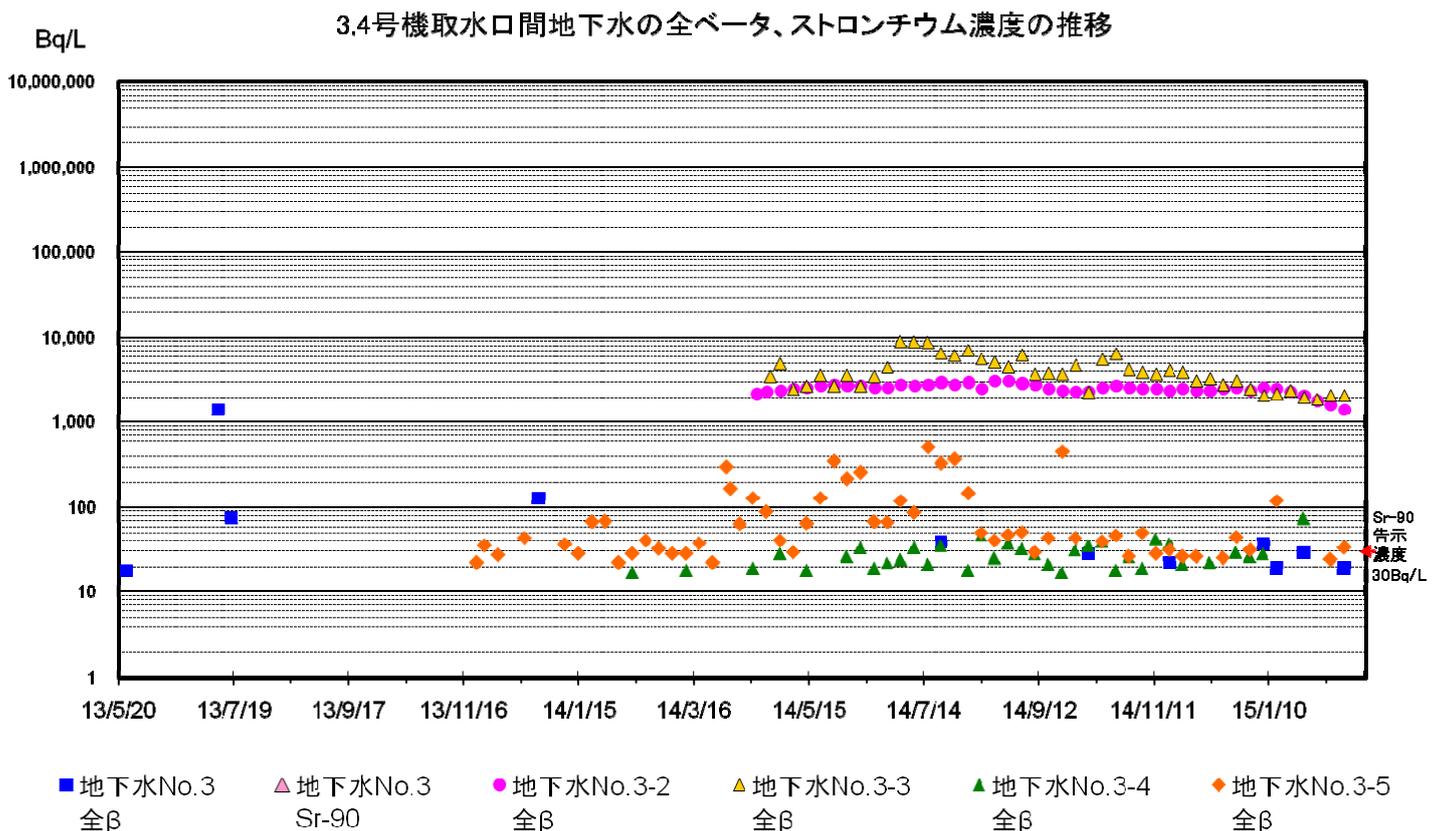
東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

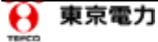
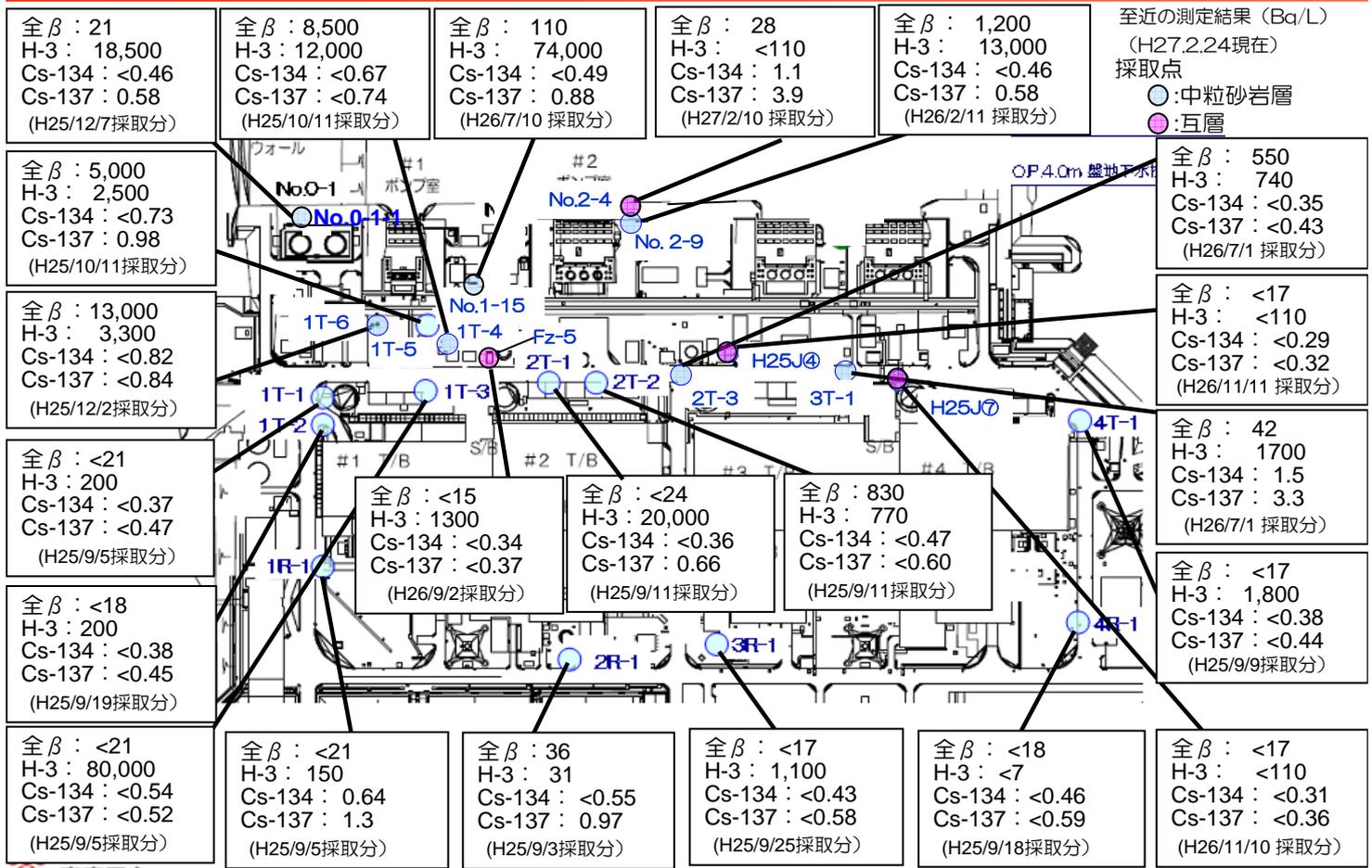
3,4号機取水口間の地下水の濃度推移(1/2)



3,4号機取水口間の地下水の濃度推移(2/2)



建屋周辺の地下水濃度測定結果



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

タービン建屋東側の地下水観測孔の位置 (埋立エリア)

※ "<〇"は検出限界以下を示す。
※ 単位：放射性物質濃度 Bq/L
※ 埋立エリアの地下水は G.L.-5.5mから採水

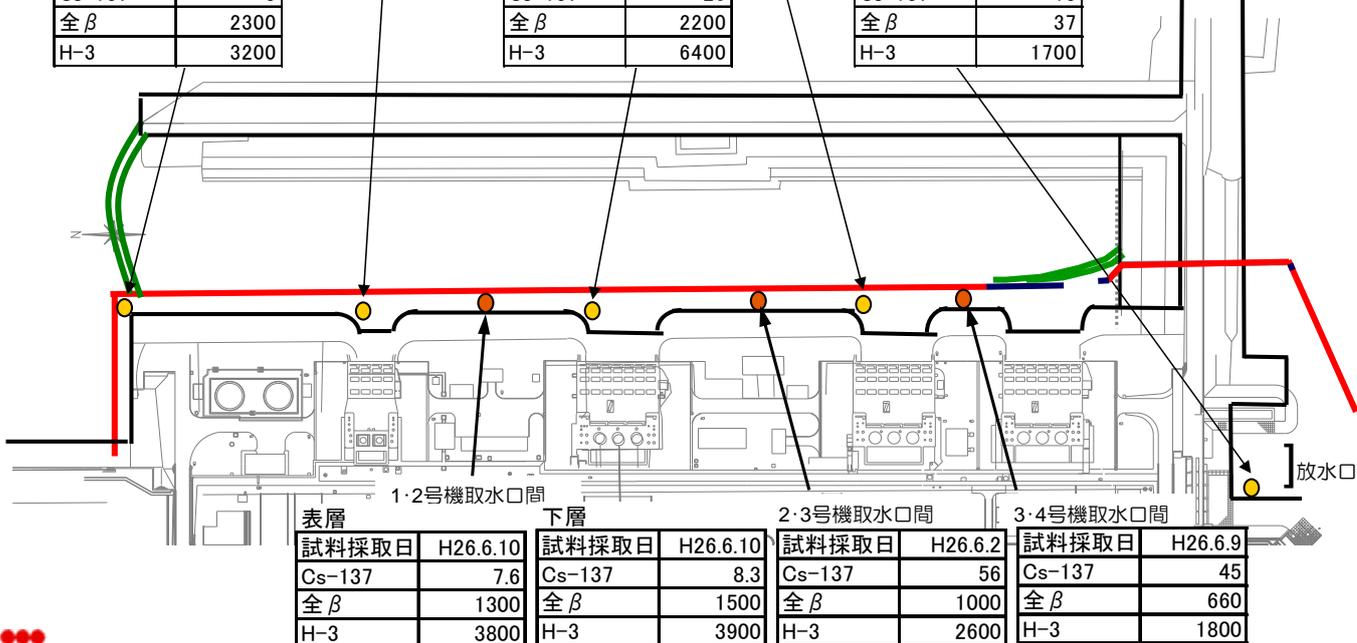
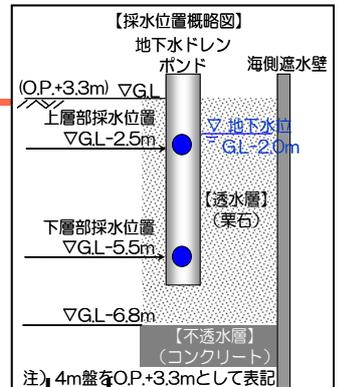
試料採取日	H27.2.16
Cs-137	9.6
全β	2600
H-3	4400

試料採取日	H27.2.16
Cs-137	27
全β	1200
H-3	2700

試料採取日	H27.2.16
Cs-137	3
全β	2300
H-3	3200

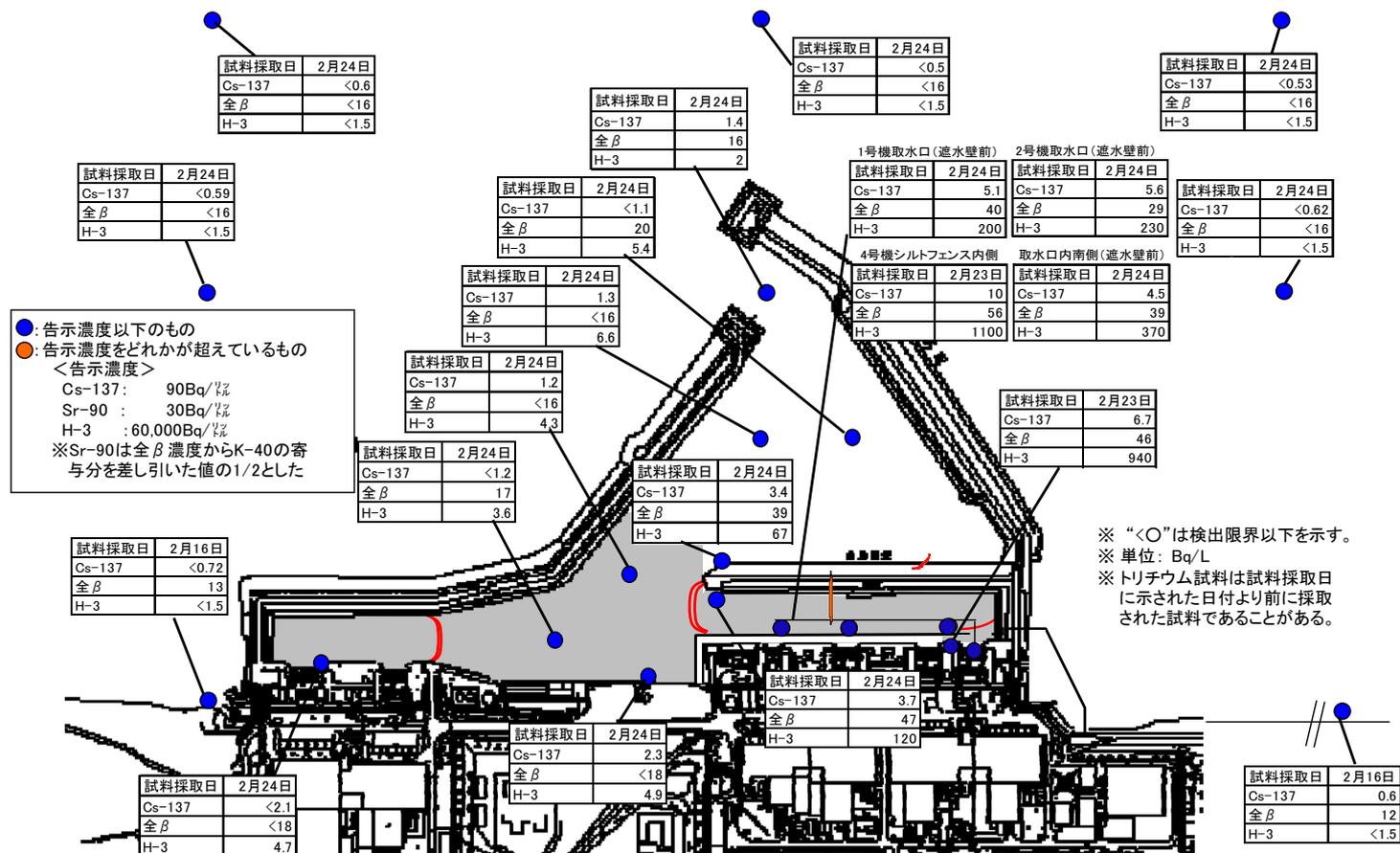
試料採取日	H27.2.16
Cs-137	20
全β	2200
H-3	6400

試料採取日	H27.2.16
Cs-137	13
全β	37
H-3	1700



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

港湾内外の海水濃度



港湾内外の海水濃度の状況

<1～4号機取水口エリア>

- 遮水壁内側の埋立工事の進捗に伴い、海側遮水壁の内側では3月以降、H-3、全β濃度の上昇が見られ、現在は高めの濃度で推移している。
- 遮水壁の外側についてはCs-137、H-3、全β濃度とも東波除堤北側と同レベルで低い濃度で推移している。

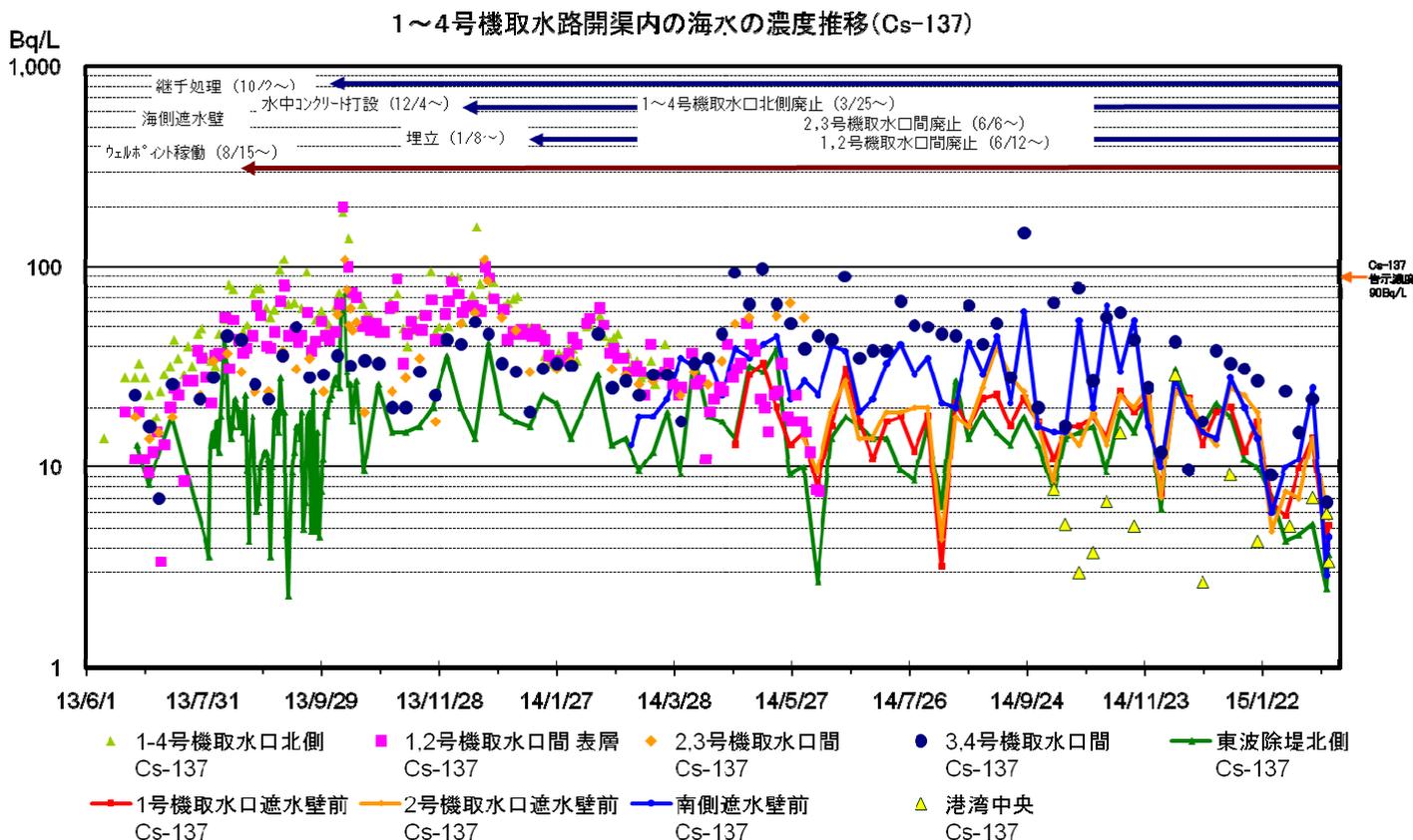
<港湾内エリア>

- 緩やかな低下が見られる。

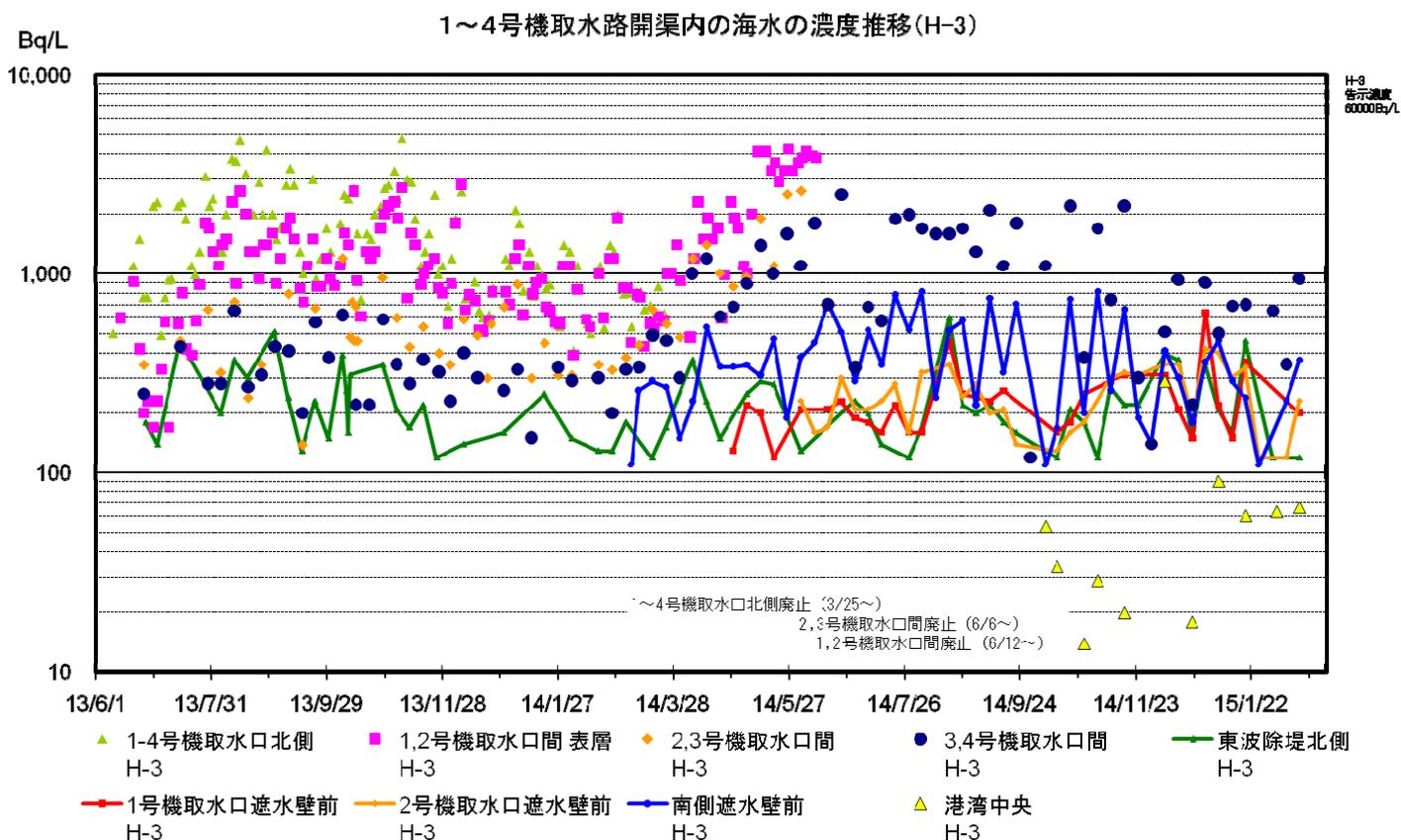
<港湾口、港湾外エリア>

- これまでの変動の範囲で推移。

1～4号機取水路開渠内の海水の濃度推移(1/3)

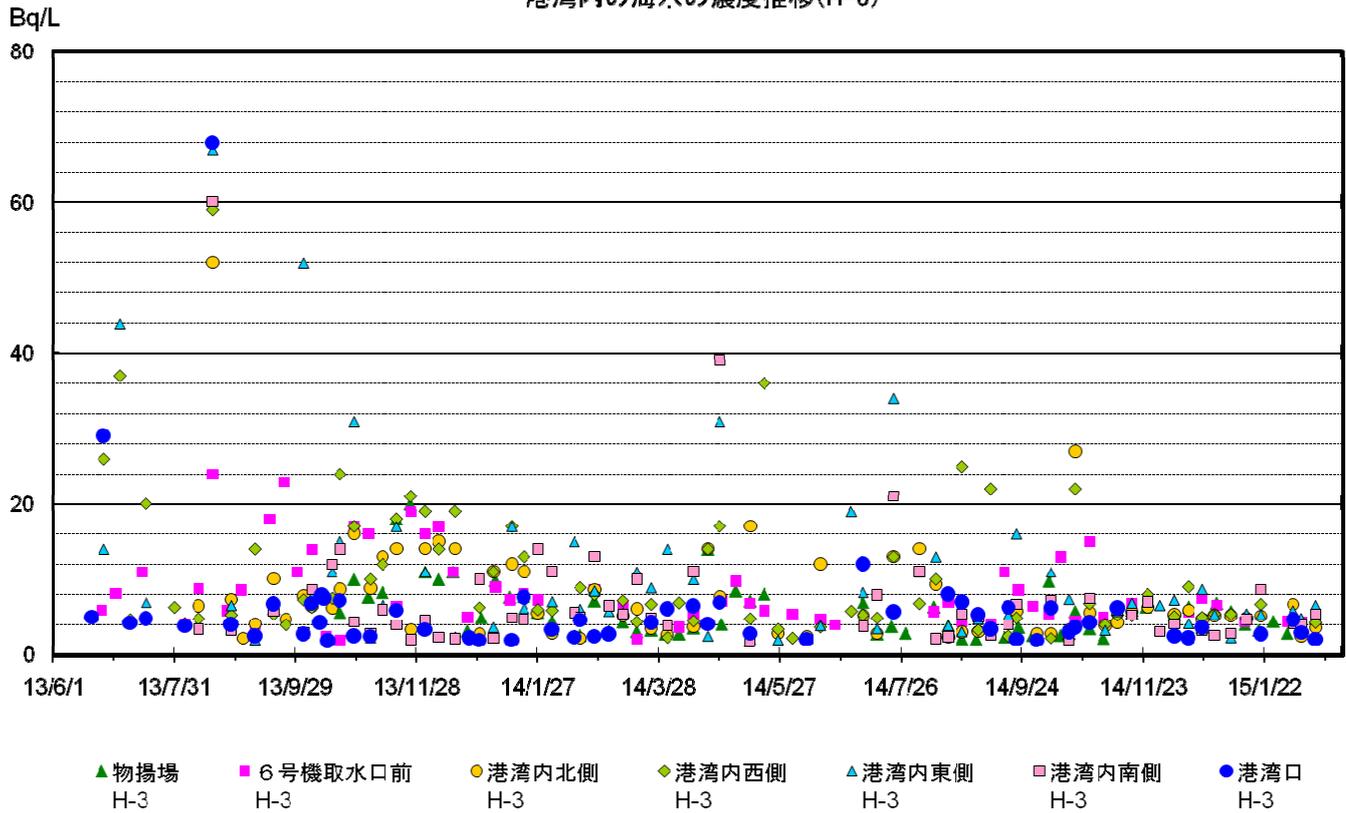


1～4号機取水路開渠内の海水の濃度推移(2/3)



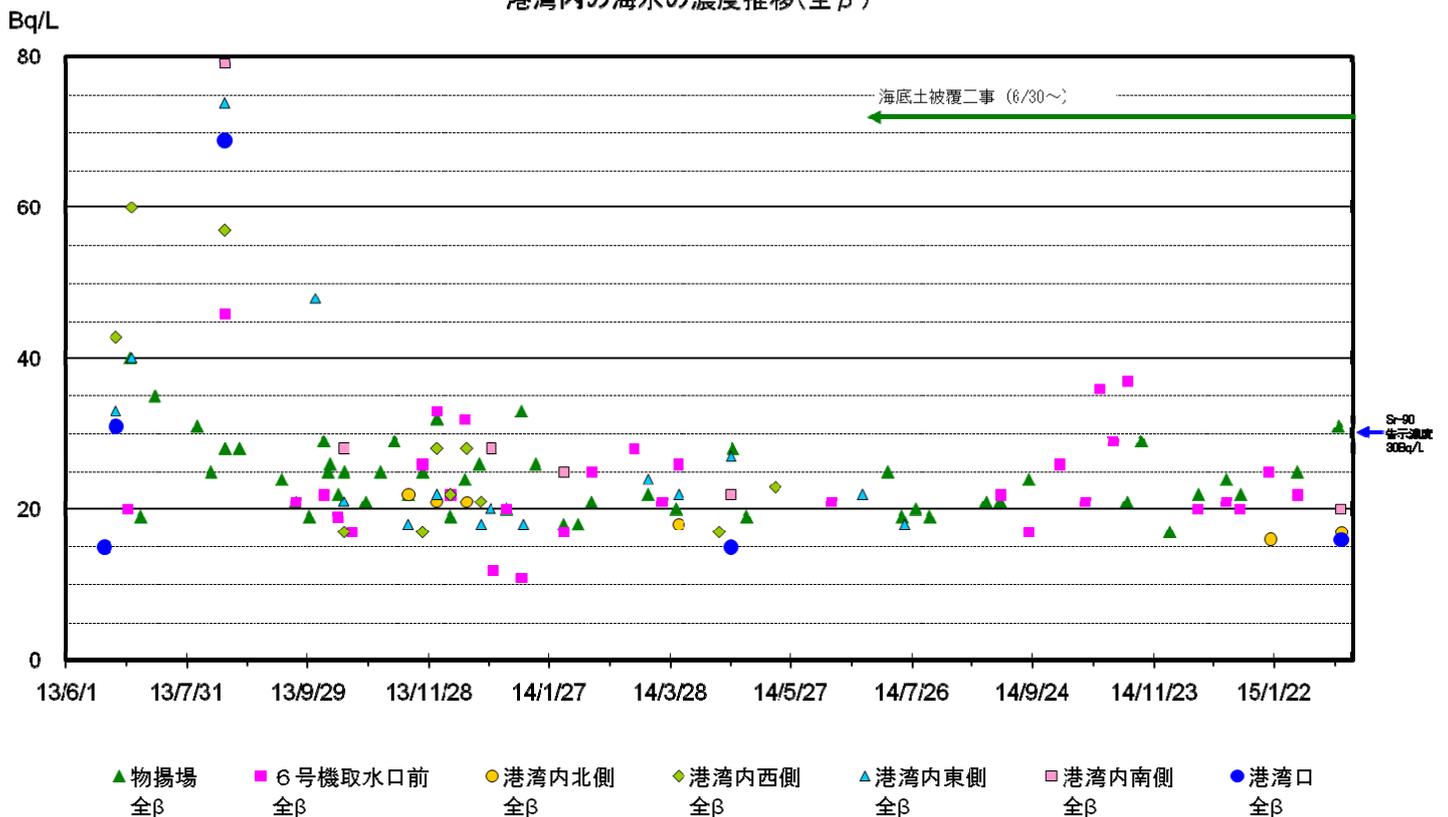
港湾内の海水の濃度推移(2/3)

港湾内の海水の濃度推移(H-3)



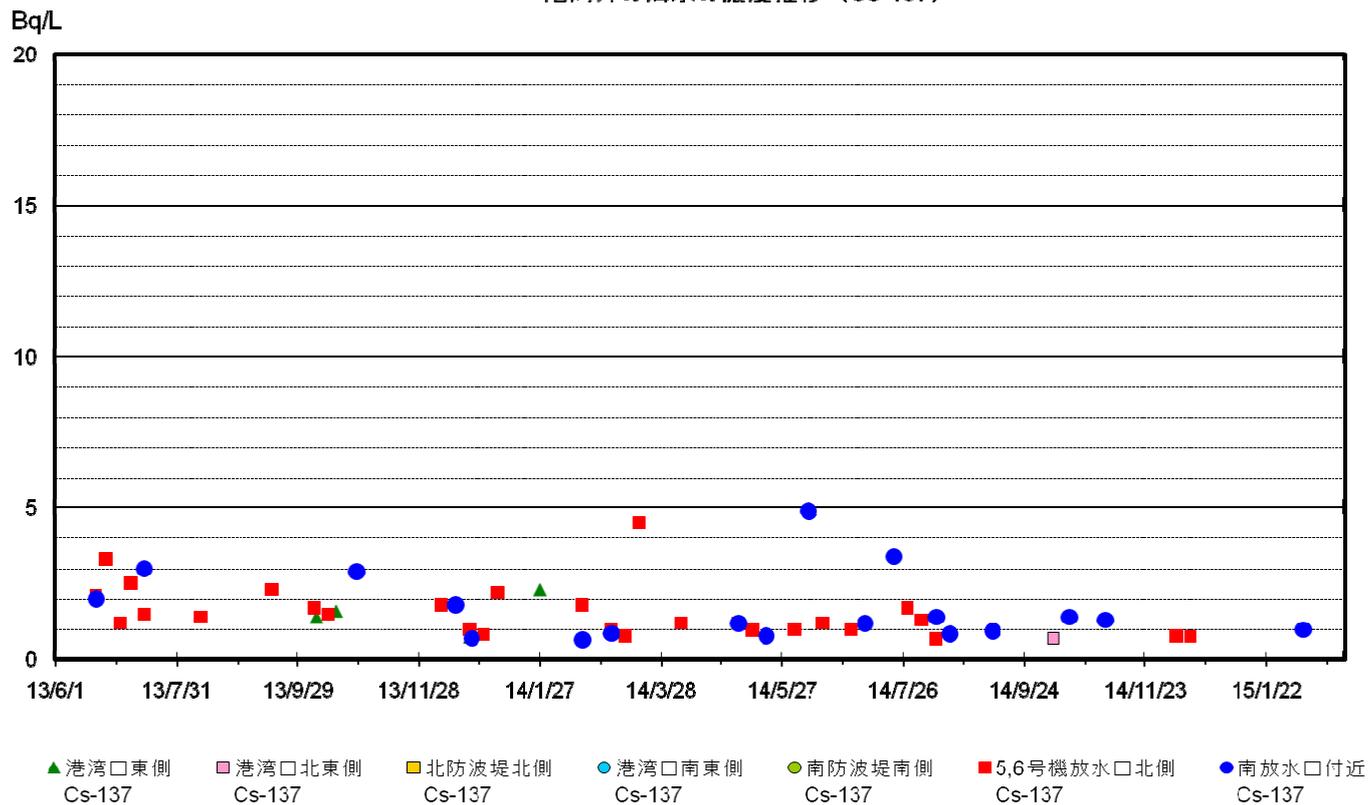
港湾内の海水の濃度推移(3/3)

港湾内の海水の濃度推移(全β)



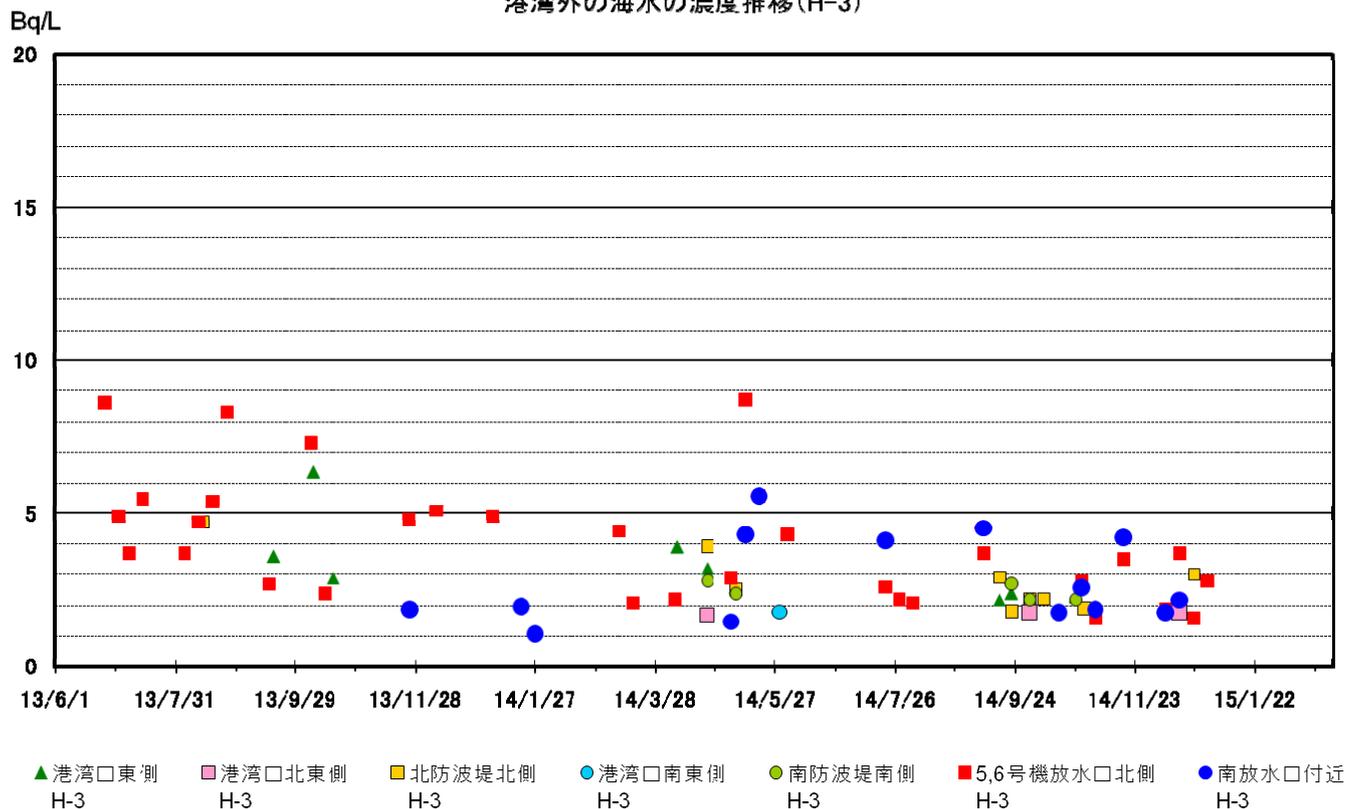
港湾外の海水の濃度推移(1/3)

港湾外の海水の濃度推移 (Cs-137)



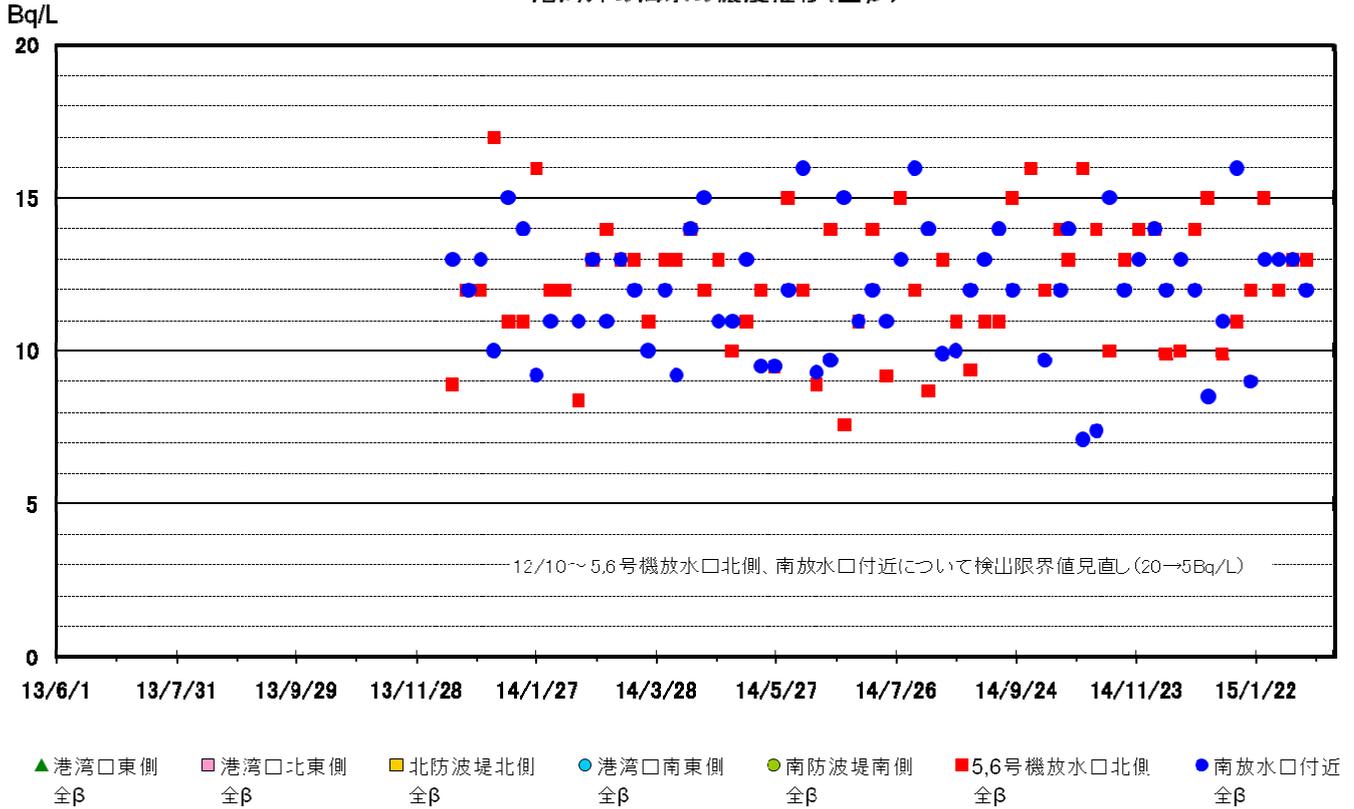
港湾外の海水の濃度推移(2/3)

港湾外の海水の濃度推移 (H-3)



港湾外の海水の濃度推移(3/3)

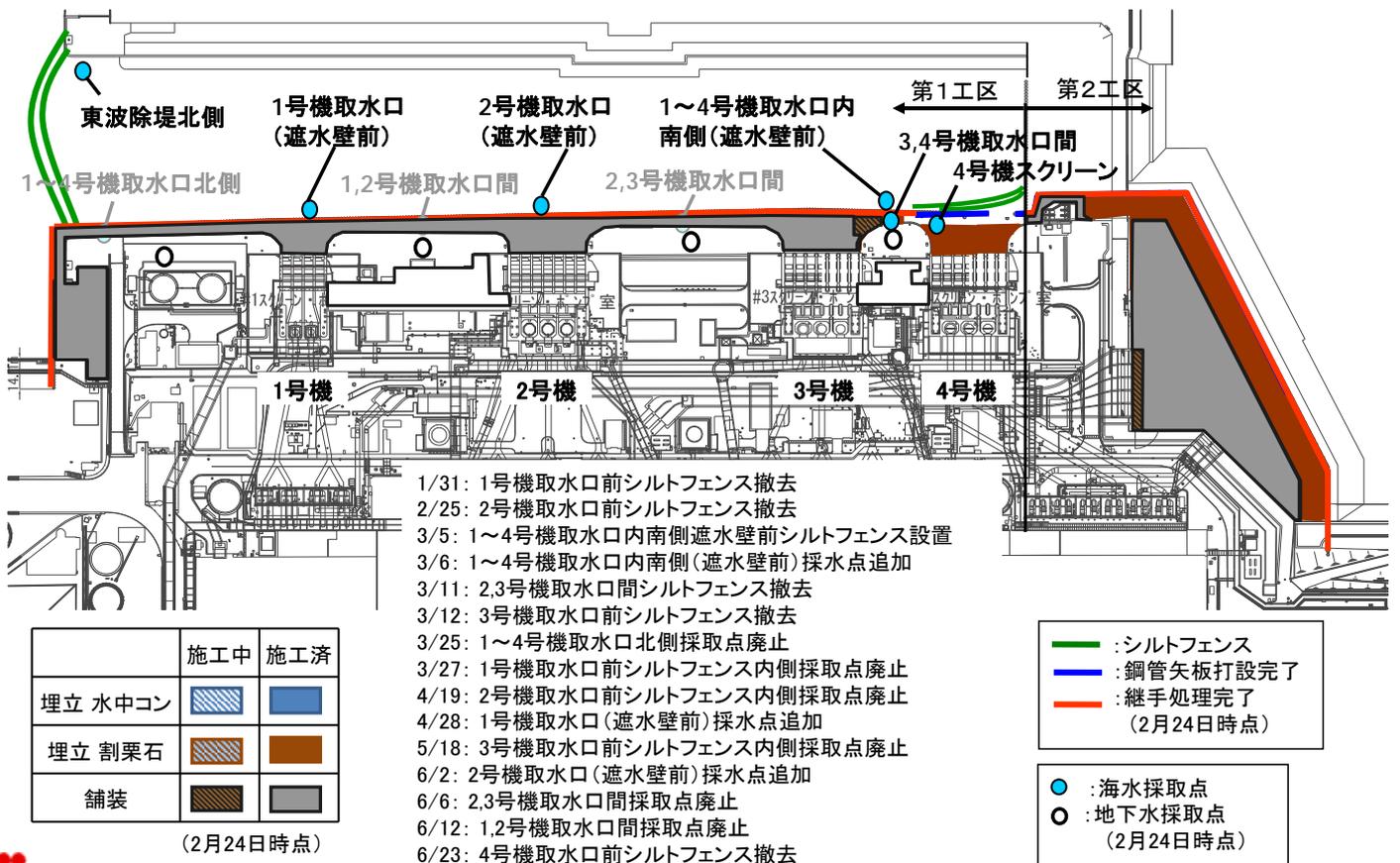
港湾外の海水の濃度推移(全β)



東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

海側遮水壁設置工事の進捗と海水採取点の見直し



東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

港湾内海底土被覆工事進捗状況

2月24日現在：約53.0%

施工エリア	施工完了面積(m ²)	施工面積(m ²)
エリア① 被覆工(A)	50,900 (100.0%)	50,900
エリア② 被覆工(B)	44,800 (34.5%)	129,700
合計	95,700 (53.0%)	180,600

